

縫製業には女性の力が不可欠。会社ぐるみで成長と活躍を支援



工場長
清水 朋弥さん

明るく元気で笑顔が絶えない佐藤さんの周りにはいつも和やかな空気に包まれています。仕事に対する責任感をしっかり持ち、先輩たちの言葉に素直に耳を傾けノウハウを吸収しています。入社2年目、伸び盛りの佐藤さんは頼もしい若手社員です。

弊社は社員の8割以上が女性で、現在の女性管理職比率は50%と女性が活躍している職場です。新入社員に対しては、先輩社員が仕事の進め方や心構えを教えたり、不安や悩みを聞いてアドバイスしたりする「ブラザーシスター制度」の導入はもちろん、社員全体でサポートしています。

昨年度に産休・育休を取得した社員の職場復帰率は100%。女性がずっと活躍できるような環境づくりを今後も進めたいと思います。

白石ポリテックス工業株式会社

1968年創業。プリーツ加工のエキスパートとして、時代や流行の変化に対応した高品質のものづくりで、アパレル業界のニーズに応える

刈田郡蔵王町宮字上原田東 79-1
TEL 0224-22-8861
http://polytex.jp/
従業員数 98人 / 女性 80人
(2019年6月現在)



洋 服を借りたり、一緒に買い物に行ったり。姉の影響もあって子どもの頃からファッションに興味がありました。高校生の時には、地元の衣料品店でアルバイトを経験し、将来はファッション関係の仕事に就きたいと考えていました。

高校3年生になり就職先を決める時に、学校で会社の求人票を見つけた。服を作っているところを見たのは生まれて初めて。工場でみなさんが楽しそうに作業をしている姿を見て「私も一緒にやってみよう！」と思い、求人に応募しました。職場は、私が以前通っていた蔵王高校のすぐ近くなので、通い慣れた場所です。安心して働ける安心感があります。高校時代の同級生にも気軽に会うことができ、仕事が終わった後にご飯を食べに行ったり、休日にショッピングやライブに出かけたりして楽しんでいます。

地元の職場は安心。休日は高校時代の友達と出かけて満喫しています！



おしゃれは足元から。休日はお気に入りのシューズを履いて出かけます

特殊な機械を任せられドキドキする毎日。早く先輩たちのようになりたいです！



みやぎ
ものづくり女子

「洋服を作っています」

白石ポリテックス工業株式会社
(蔵王町)

さとう れん
佐藤 蓮さん



加工前の布(右)にプリーツ加工を施すと美しい折り目が現れる(左)

「プリーツ」と呼ばれる布にひだや折り目を付ける加工を担当しています。

スカートやブラウスなどに見られるプリーツ加工は、裁断・縫製した布に熱などを加えることで施され、機械を使う方法と手作業の2種類があります。私はプリーツ加工専用の機械を使って作業をしています。一つの機械を任せられているので責任重大ですが、その分やりがいを感じることが出来ます。事前に温度や回転数を設定した機械に布を通すと、自動的にプリーツ加工が施されます。多い時には1日60〜70回くらい。一度機械に布を通してしまつと、後戻りすることができないので、毎回緊張感をもって臨んでいます。

機械の設定は、布の素材や染料、その日の気温によっても微妙に異なります。私だけではまだ判断ができないため、ベテランの先輩に教えてもらっています。先輩のみなさんはとても優しく、女性が多い職場なので安心して働くことができます。お昼休みには、食堂に集まって、おしゃべりをしながら昼食を楽しんでいます。まだ、覚えることばかりの新人ですが、たくさんの経験を積んで早く一人前になりたいです。まだやったことのない加工にも挑戦してみたいです。縫製や検品などほかの工程もやってみたいと思っています！